

東広島市公共施設の適正配置に係る基本計画(案) パブリックコメント 集計結果

実施期間：平成27年2月10日(火)～2月24日(火)

提出人数：6名（提出意見13件）

地域(西条2、志和2、豊栄1、河内1)、年代(40代2、50代1、60代2、70代1)、性別(男性5、女性1)

区分	件数	内容
案を修正すべき意見	該当無し	基本計画案の修正に影響のあった意見
修正無し	4	<p>基本方針案の修正には至らないと判断した意見。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設の適正配置に係る基本的な考え方と相容れないものや、現実的に不可能であるもの(今回は該当なし)</li> <li>○個別の施設に関する事など、実施計画において判断すべきもの <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 河内西小学校を多機能化し地域センターと保育所を統合すべき</li> </ul> </li> <li>○一部関連はあるものの、他の計画において具体的な施策や方針を示す必要のあるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 歴史博物館を建設すべき(2件)</li> <li>→ 志和堀の格納庫を管理対象としないのは問題である</li> </ul> </li> </ul>
既に本文に記載済み	9	<p>既に基本計画案の本文に記載されているか、解釈によって概ね含まれていると考えられる意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ (7件)</li> <li>→ 格納庫の配置について市全域の再確認をしてほしい</li> <li>→ 図書館のサービスを維持してもらいたい</li> </ul>
基本計画に関係しない意見	該当無し	公共施設の適正配置に関係の無い意見

東広島市公共施設の適正配置に係る基本計画(案) パブリックコメントの結果

実施期間：平成27年2月10日(火)～2月24日(火)

提出人数：6人(13件)

地域(西条2、志和2、豊栄1、河内1)、年代(40代2、50代1、60代2、70代1)、性別(男性5、女性1)

分類	意見	考え方	対応
総論	箱物を長寿命化するには、運営面をいかにすべきかが重要な課題である。	ご意見のとおり、施設を長寿命化するためには、効果的かつ効率的に管理運営を行うことが重要になります。各施設の状態や地域の実状等を踏まえ、運営手法について、地域の皆様とともに協議を行う中で施設の価値を高めつつ、適切な維持管理の手法についても検討していきたいと考えています。	記載済み
総論	小学校や集会所、消防格納庫などの公共施設は、地域コミュニティの拠点でもある。統廃合(適正配置)を住民抜きで合理化の観点で進めてはいないか。	公共施設の適正配置は、市民の皆様のご理解とご協力を得ながら進めていくことが大切であると考えています。そのため、基本計画の策定においては、パブリックコメント等によって市民の皆様のご意見を伺うとともに、シンポジウムの開催等を通して共通理解が得られるよう取組みを進めてきました。基本計画の策定後、個別の施設の方針に係る実施計画の策定に入りますが、この過程においても、ホームページや広報紙等様々な媒体によって広く情報をお知らせするとともに、各地での説明会や出前講座等を開催し、市民の皆様とともに取組みを推進したいと考えています。	記載済み
総論	高齢化の進展によって、これまで地域が担ってきた施設管理だけでなく、道路河川の維持管理もできなくなり、行政への要望が増えコストも膨らむことが予想される。	ご意見のとおり、今後も高齢化が進展することで、社会保障に係る経費の増加や、これまで地域の方に担っていただいていた施設や道路河川等の管理活動の継続が困難になることが考えられます。そうした課題に対応するためにも、公共施設の適正配置を推進するとともに、施設の維持管理に係る財政的な負担を軽減していくことで、インフラを含め、将来にわたって良好なサービスが持続するしくみを構築したいと考えています。	記載済み
総論	過疎化に一生懸命取り組んでいる地域のまちづくりにも視野を広げてもらいたい。	公共施設の適正配置においては、施設のあり方を利用状況や費用対効果のみで判断するのではなく、性格、機能、サービス圏域などの観点から地域性を考慮することで、サービスの質を保ちつつ将来に負担を残さない、効果的で効率的な施設体系を構築したいと考えています。	記載済み
総論	(公共施設の適正配置は、)地域実情に見合った検討をしなければ、今以上に経費が必要になることや、最悪の場合地域が切り捨てられることが懸念される。	同上。	記載済み
総論	ニーズが減少するから施設を縮小するという発想は、人口減少地区にとっては大変不安である。	同上。	記載済み
施設グループ(図書館)	安易に減らすのではなく、職員が業務を兼務するなどの工夫により図書館サービスを維持してもらいたい。	同上。	記載済み
総論	地域と交流を図り、地域ごとの特徴(良い面、悪い面)などを把握したうえで、建物とインフラを総合的に検討する計画であってほしいと考える。	同上。また、本計画は、今後とりまとめを行うインフラに係る長寿命化等の方針を踏まえ、全ての公共施設を対象とする公共施設等総合管理計画への移行を目指すものとしています。	記載済み
施設グループ(格納庫)	安全・安心の拠り所である志和堀の格納庫を一つも管理対象としないというのは問題であると考えている。	公共施設の適正配置の推進に当たっては、大小様々な施設を効率的に管理していく必要があることから、管理対象とする施設を延床面積50㎡以上としていますが、50㎡未満の施設であっても、市が所有する施設については適切に維持管理を行います。格納庫については、各地域における施設の老朽化と配置バランスの不均衡が課題となる中で、機能的な消防活動の実現を図るため、全市的に一分団一格納庫となるよう統合を進めて行くこととしており、志和堀地区においても、地域の皆様のご理解をいただきながら、適切な場所に配置すべきであると考えています。	修正なし
施設グループ(格納庫)	市民の安全安心の観点から(格納庫の配置について)市全域の再確認もしてほしい。	各地域の実状や施設の性格、機能、サービス圏域などを踏まえ、市全体の施設配置を見直し、サービスの質を保ちつつ持続可能な施設体系を構築したいと考えています。	記載済み
施設グループ(小学校、保育所、集会所)	河内西小学校に、河内地域センターと河内西保育所を集約し、多機能施設として合理化を図るべき。老朽化した地域センターは、増築部分のみを残して地元の集会所として指定管理にすべき。	各施設の具体的なあり方については、今後、実施計画を策定する過程において、個別の状況を踏まえつつ検討することとしていますが、公共施設のあり方として、多機能化や複合化は、利用者の利便性が向上するとともに、維持管理経費を抑制することができるため、積極的に推進していきたいと考えています。また、運営手法についても、指定管理制度の導入や民営化等、各施設の実情に応じた手法を検討するとともに、譲渡等所有形態も含めて検討したいと考えています。	修正なし
その他	中央生涯学習センター跡地に歴史博物館を建設してもらいたい。	歴史を継承し貴重な文化財を保護・活用することは、大変重要であると考えていますが、新たな施設の必要性や生涯学習センター跡地の活用等、個別の施設のあり方については、本計画の趣旨を踏まえつつ、今後検討します。	修正なし
その他	本格的な歴史博物館が必要だが、当面は中央生涯学習センターの跡地に出土資料の展示・公開ができる歴史関係文化施設の設置を要望する。	同上。	修正なし